

第68回全国高校スケート・アイスホッケー競技選手権は第3日の24日、八戸市と南部町、福島県で各競技を行い、愛知県でフィギュアが開幕した。県勢のスピードは男子10000円で赤坂仁(八戸西)の12位、女子同で宮下和奏(八学光星)の29位、女子30000円は上野恵理子(同)の24位が最高だった。アイスホッケーは2回戦8試合を行い、県勢は八工大一

第68回 全国高校 スケート
第3日

が関西第一(大阪)を12-2で下して準々決勝に進出。八戸は埼玉栄に1-10で敗れた。

第4日の25日は、スピードの男女15000円と男子1万円、アイスホッケーは準々決勝4試合を行い八工大一は清水(北海道)と対戦、続いて準決勝2試合を行う。フィギュアは女子予選Aショートプログラム(SP)を行う。

(工藤俊介、米山竜一)

監督の気合で「気が楽に」

○…女子30000円の上野(八学光星)は、強風に苦しみながらも自己ベストの4分58秒50に約2秒差まで迫る5分0秒69で24位。「頑張った」と評価した。風の強さから「滑るのが怖かった」スケートリンクだが、レース前に早川監督から気合を入れてもらい「気が楽になった」。4周目の突風でトップを落とし、目標の4分50秒前半に及ばなかったことは悔やんだ。

リンクの特徴はつかんだようで「最初からガンガン攻めた」と翌日の15000円に視線を向けた。

【女子30000円】5分0秒69で県勢最高の24位だった上野(八学光星)



「落ち着きすぎた」

○…女子10000円の宮下(八学光星)は29位。風雪の強い悪条件にも慌てず滑り、昨年大会の47位より順位を上げ29位に

位より順位を上げたが「落ち着きすぎた」と反省した。練習では長距離を滑り、腕振りと足で氷を押し出すタイミングを合わせることで得意のストレートに磨きかけた。悩みのあがり症は克服できたが「抑えずきでタイムが伸びなかった」。どこまで攻められるか限界を知ることが課題のようだ。ほかにもメンタル面の強化や「苦手なコーナーでも加速できたら」など課題を挙げ、さらなる成長を誓った。



【女子10000円】宮下(八学光星)は昨年の47位より順位を上げ29位に